

---

---

スマートフォン向け IPサイマルラジオアプリ



---

TOKYO FM

---

2012年2月

株式会社 エフエム東京  
マルチメディア放送事業本部



# Everywhere!, Every Station!



- 全国のFMラジオ局が全国どこでも月額315円で聴取できるスマートフォンアプリ！
- 地下鉄でも音が途切れず聴ける！ バッファリング再生
- JFN38局で一斉スタート（他系列の参画も想定）



### Now On Air(番組情報表示)



ID	名称	説明
	タイトルエリア	➤ 「Now On Air」を表示します。
	バッファインジケータ	➤ MP3ファイルのバッファ状態を表示します。
	チューニングエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ すべてのステーションが表示されます。</li> <li>➤ 左右にフリックしてステーションを選択すると下部の番組情報、楽曲情報、タイムテーブルが切り替わります。</li> <li>➤ ステーションロゴをタップすると音声が変わります。</li> <li>➤ 「Now On Airリンク」をタップすると視聴中のステーションに戻ります。</li> </ul>
	切換えタブ	➤ 番組/楽曲情報とタイムテーブルの表示を切り替えます。
	番組情報エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 番組ロゴ、番組名、出演者、紹介文を表示します。</li> <li>➤ チューニングエリアの操作で表示する情報が切り替わります。</li> </ul>
	楽曲情報エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 演奏者名、楽曲名、On Air日時を表示します。</li> <li>➤ 「関連楽曲を探す」をタップすると楽曲情報サイトへ遷移します。</li> </ul>
	Favorites追加リンク	➤ 当リンクをタップすると、表示中の楽曲情報がFavoritesリストに追加されます。
	メニューエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ アイコンをタップすると対応するページへ遷移します。</li> <li>➤ 表示中ページのアイコンをタップした場合は何も起こりません。</li> </ul>
	その他	➤ ザッピング中に端末を振る動作で再生中のステーションに戻ります。

### 3: IPサイマルラジオ「ドコデモFM」アプリ 画面遷移



#### 1. 起動画面



聴取権あり



#### 2. Now On Air (番組表示)



タブによる切替で、  
タイムテーブルを表示



#### 3. Favorites



お気に入り  
楽曲のリスト

#### 4. Twitter



番組を聴きながら  
Twitterに投稿

#### 5. Help



ヘルプ画面

聴取権なし



OK選択

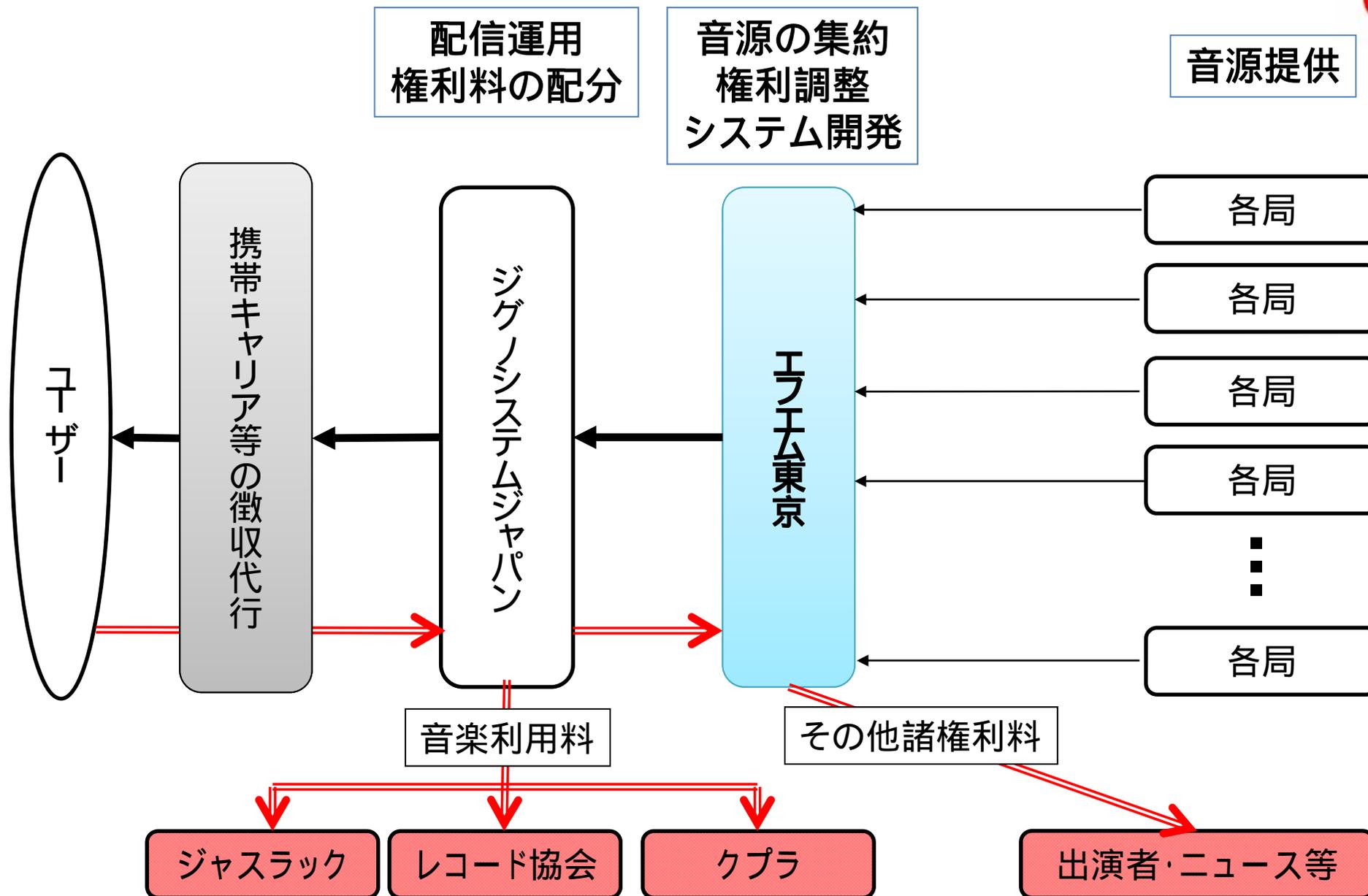


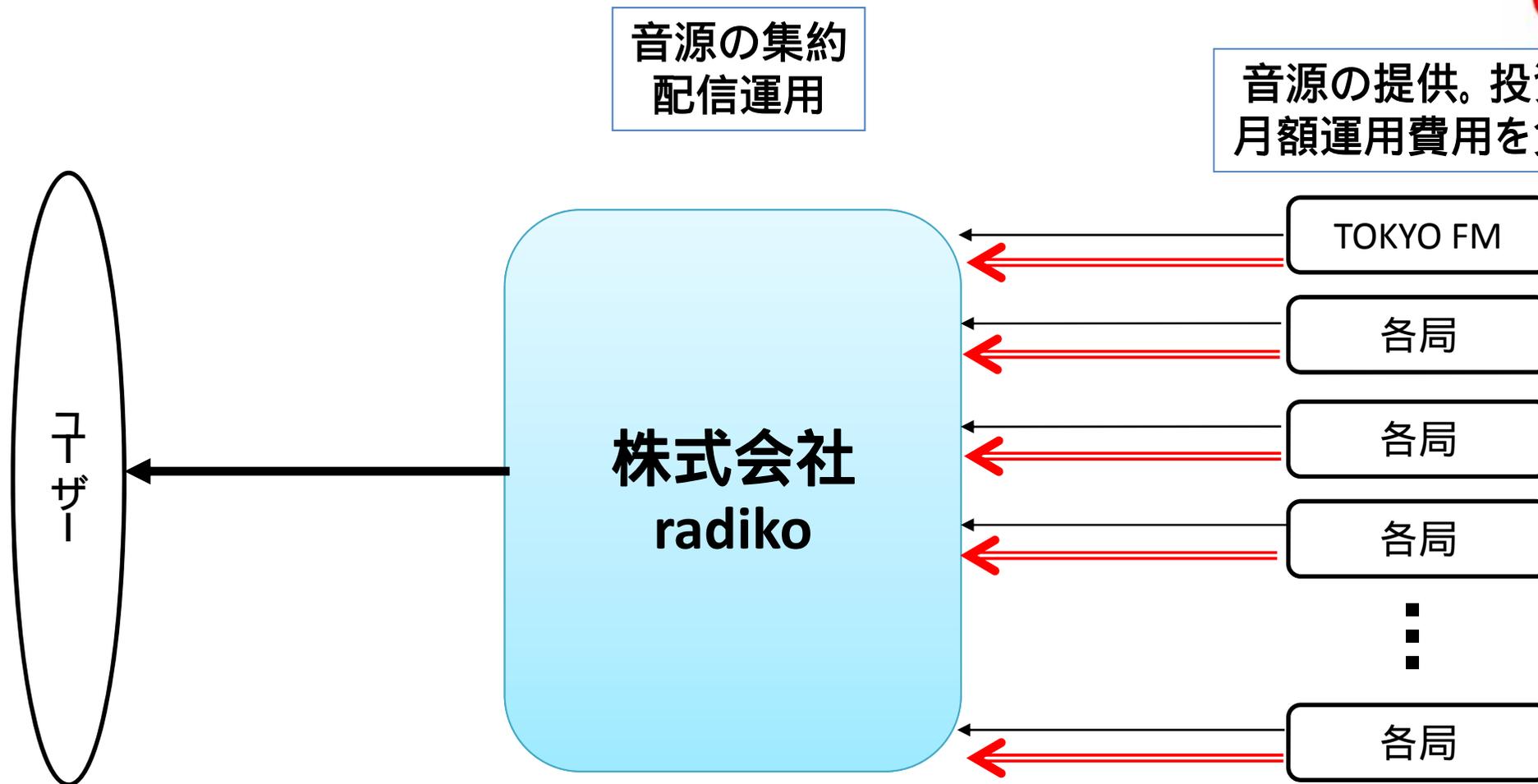
聴取権購入へ  
(マイメニュー登録へ)



radiko		ドコデモFM
聴取できる地域を制限 (原則として放送の電波が届く範囲) 【IPアドレスによる】	サービスとエリア	地域制限なし (国内のみ) 【GPSによる】
無料	ユーザー負担	有料
設備投資や配信費用を負担	ラジオ局の負担	音源集約するまでを 個々の局が負担(回線費等)
—	音楽権利料	規程に従って計算して支払
—	その他の権利料	双方協議の上、ルール化して支払
放送のまま送信している	CM	当分の間、作業により差し替え中
実績なし	ラジオ局の収入	なし
—	「事業者」収益	配信回線費用や権利料の支払、 サーバー/アプリ開発の投資回収、 に先ず充当、 残余が出ればVer.UP など、聴取環境改善の原資に回す
放送の補完?	位置付け	ユーザーニーズに応える、コンテンツ事業

# 5:IPサイマルラジオ「ドコデモFM」各プレイヤーの役割







## 【IPサイマルサービス開発の経緯】

1. 2009年12月、日本の放送局として初めて、  
『24時間・地上波FMラジオのインターネットサイマル(同時送信)』の実証実験を開始。
    - ・ iPhone / iPod touchでTOKYO FMの本放送と同一内容の番組を配信するアプリ
    - ・ 権利者各方面のご理解とご協力を得て、「TOKYO FMアプリ」をiTunesで配布
    - ・ GPSで聴取地域制限することで、GWサーバーの問題による地域外聴取や「IP偽装」を回避
    - ・ 一方で、バッファリングにより地下鉄の駅間でも途切れず聴けることが、ユーザーに好評であることが判明
  2. 2010年3月、『radiko』のサービスが開始(在京、在阪のラジオ局)
    - ・ ラジオ業界の意識の変化
  3. 2011年1月、auが「LISMO WAVE」(auが事業者、地域制限なし、有料)スタート
- 【放送番組コンテンツを利活用した、新しいコンテンツ配信(=通信)サービスとして】
1. 消費者の強いニーズ(大都市の地方出身者、特定アーティストの“追っかけ”...etc.)
  2. 利用者が増えるほど遡増する配信コスト(通信と放送の違い)
  3. 「焼畑農業」ではなく、ルールを整備して「持続可能な農耕」を  
権利者への正当な報酬、利用者が実費シェア、共存共栄と再生産



1. 「ローカルCMを聴取したい」という、ユーザーの強い欲求  
CMの「権利」、広告主の主張(?), CMをフィラーに差替える手間
2. 放送収入(広告料)が増えるわけではない
3. 利用者増とともに遡増するコスト(配信サーバー能力、回線の増強)
4. マーケティング  
「どこで」「どの番組を」「どのくらいの長さ(いつやめたか)」「率ではなく総量」
5. SNS等、コンテンツ(放送)と伝送路(通信)連携の新たなサービス開発
6. ドコモ…「FM」
7. 音楽利用料以外の「権利」のルール化が、コンテンツの流通と発展のカギ